

クラウドファンディング

幻の製糸場を追え！

—明治6年に東京赤坂に存在した製糸場を立体復元—



東京農工大学
科学博物館

葵町製糸場の図面の発見

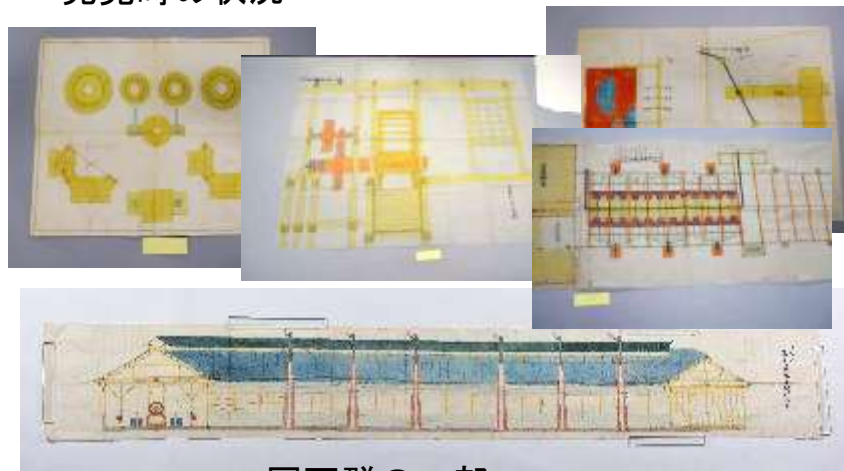
2016年8月 科学博物館の収蔵庫で41点の図面群が発見される。



発見時の状況



博物館収蔵庫




図面群の一部

専門家(鈴木 淳 東大教授)により、
勸工寮葵町製糸場の図版の原資料であることが確認された。

2017年10月4日 プレスリリース発表

葵町製糸場は、明治初期、富岡製糸場と並ぶ2大製糸場のひとつとされたが、資料が少なく「幻の製糸場」と言われてきた。

	葵町製糸場	富岡製糸場
設立	明治6年1月	明治5年10月
技術形式	イタリア式	フランス式
動力	水力	蒸気
特徴	高機能分散型	大規模型
現状	時代とともに消滅 ? 農工大に復元したい! 図面が多く全体の様子や機構の解明が難しい	世界遺産として保存 

葵町製糸場の歴史と役割

明治6年2月

東京赤坂葵町(溜池)に工部省勸工寮が建設
スイス人技術者ミュラーが設計

日本各地へ技術を伝承する拠点となる
小田県を始め7県の請願により技術供与
(『工部省沿革報告』1889年)

葵町製糸場の導入の容易さが高く評価された

明治13年

東京府北豊島郡下石神井村に払い下げられ
て移設

保存されることなく時代とともに失われた

東京農工大学製糸学科 故鈴木三郎名誉教授
旧蔵の図面群が繊維博物館(現 科学博物館)
へ寄贈



ミュラー肖像写真『日本製糸雑誌』第16号(1897年)より

C. ミュラー



葵町の浮世絵



イタリア式機構の浮世絵

葵町製糸場を、農工大に復元したい。
まずは、図面を3Dモデル化して、デジタルで復元を試みる。



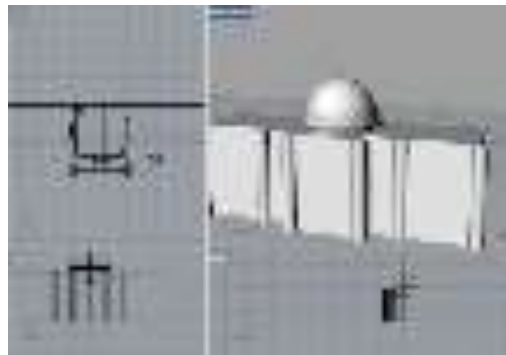
図面のデジタル化

歴史的調査(文献等)



【ターゲット】

製糸場の
3Dモデル構築



【効果】

イタリア式
製糸技術の解明

わが国における洋式技術
伝播の空白が埋まる

歴史・考古学・技術史
に貢献

農工大の価値向上に貢献

有識者からのメッセージ

東京大学大学院
人文社会系研究科・文学部
教授 鈴木 淳



日本の近代化・技術伝播
解明に期待

葵町製糸場は水車の利用をはじめ民間製糸場へ及ぼした影響は富岡製糸場より大きかったとも言われ、日本の近代化、技術伝播の解明につながる。

富岡市世界遺産部
富岡製糸場保全課
課長 結城雅則



2大官営工場の
新知見を期待

明治6年のウィーン万国博覧会では、富岡製糸場と葵町製糸場が「進歩賞牌」を、指導者であるフランス人ブリュナとスイス人ミュラーが「協賛賞牌」を受賞。
2大官営工場としての新知見を期待。

前橋市
前橋学センター
センター長 手島 仁



イタリア式製糸場の
復元に期待

ミュラーによる明治3年国内初の器械製糸場があった前橋は「生糸(いと)の都市(まち)前橋発信事業」として、前橋藩製糸場と同系統の製糸場の復元に大きく期待。

クラウドファンディング業者: Readyfor



実施期間: 2月1日(金)～3月29日(金)

目標金額: 100万(寄付型)

※目標金額不成立の際は、寄付金は全額返金されます。
 ※寄付金のため税制上の控除の適応対象となります。

岡谷蚕糸博物館連携記念企画展
 「繭から糸を繰る～技術の変遷と未来～」
 1月5日(土)～3月30日(土)

記念シンポジウム
 「葵町製糸場図面発見！近代製糸技術の継承と未来」
 2月2日(土)13:00～15:00

予定リターン

寄付金額: 5,000円

リターン:
 HP名前掲載(希望者) メールマガジン
 応援メンバーズカード

寄付金額: 50,000円

リターン:
 HP名前掲載(希望者) メールマガジン
 応援メンバーズカード キックオフ会参加権
 収蔵庫見学会参加権
 報告会参加権

寄付金額: 10,000円

リターン:
 HP名前掲載(希望者) メールマガジン
 応援メンバーズカード キックオフ会参加権
 報告会参加権

寄付金額: 100,000円

リターン:
 HP名前掲載 メールマガジン
 応援メンバーズカード キックオフ会参加権
 図面実資料閲覧会参加権
 報告会参加権 収蔵庫見学会参加権
 古地図を持って葵町製糸場現地散策会参加権



※詳細は2月1日のプロジェクトサイトをご覧ください